

# 第16回 ヨウ素学会シンポジウム

- ◆ 日 時 : 2013年9月18日(水) 9:15~17:10
- ◆ 場 所 : 千葉大学けやき会館
- ◆ 主 催 : ヨウ素学会、千葉大学
- ◆ 共 催 : (公社)日本化学会、日本ヨード工業会
- ◆ 協 賛 : (公社)日本薬学会、(公社)有機合成化学協会、日本ヨード懇話会、  
(公財)千葉県産業振興センター、(社)千葉県製薬協会、千葉工業大学

## < I部~IV部: 講演 > 1F 大ホール

No.	予定時間	分類	講演テーマ	研究発表者	所属団体
	9:15~9:20	挨拶	石川 勉 会長		
I部: 座長 (海宝龍夫)					
①	9:20~10:00	招待講演	The Significance of Ion Chromatography among Other Methods for the Determination of Iodine in Samples with Complex Matrices	Anna Błażewicz	Medical University of Lublin
II部: 座長 (荒井孝義)					
②	10:00~10:15	一般講演	日本人のヨウ素摂取量の現状と問題点	○布施養善・浦川由美子・塚田 信・横山次郎・紫芝良昌・入江 實	成育医療研究センター・鎌倉女子大・学習院女子大・農産工・成長科学協会
③	10:15~10:30	一般講演	四ヨウ化チタンにより促進されるアゼチジン-3-オンおよびそのO-アルキルオキシムの還元的開環反応	○八谷 巖・波多慎吾・福田大祐・有賀静佳・西 隆文・溝田 功・清水 真	三重大院工
④	10:30~10:45	一般講演	触媒量の単体ヨウ素を用いる三級アミン類と炭素求核剤との脱水素型クロスカップリング反応	○多田教浩・藤谷明敏・信田智哉・三浦 剛・伊藤章彦	岐阜薬大
III部: 座長 (大谷康彦)					
⑤	10:45~11:25	招待講演	ヨウ化物物を利用する金属製錬やリサイクル技術	岡部 徹	東大生技研
IV部: ポスター発表 ショートスピーチ					
	11:30~12:30	20件×2分:60分(交替時間含)			

## < Vポスター発表、企業展示 > 3F レセプションホール

*時 間 ; 展示 12:00~14:45 . . . . . 発表と質疑 (13:15~14:45)		
ポスター発表	発表件数 42件	物理化学、有機反応理論、分析化学、触媒化学、分子生物学、資源、環境、エネルギー、エンジニアリング、プロセッシング、利用、応用、実用品の開発と製品紹介 (医薬品、殺菌消毒剤等)、生物圏におけるヨウ素の働きとその循環機構 など
企業展示		ヨウ素製品等の展示、ヨウ素分析機器等の展示 (時間; 随時)

## < VI部~VIII部: 講演 > 1F 大ホール

	14:55~15:00	特別賞受賞式 (受賞者: 田中尚文)			
	15:00~15:05	学会賞受賞式 (受賞者: 矢島博文)			
VI部: 座長 (藤川高志)					
⑥	15:05~15:45	受賞講演	分子集合性β1,4-グルカン・ヨウ素複合体を利用した環境応答性ナノバイオ材料の創製とその医療展開	矢島博文	東理大理
VII部: 座長 (石原一彰)					
⑦	15:45~16:00	一般講演	超原子価ヨウ素化合物と密度汎関数理論	○柳田祥三	阪大名誉教授・東大先端研
⑧	16:00~16:15	一般講演	ヨウ素環化反応を利用するベンゾチアジンおよびセレナジン類合成	○要 衛・指田春喜	北陸大薬
⑨	16:15~16:30	一般講演	光学活性超原子価ヨウ素を用いた4-オキシイソクロマン/天然物の不斉合成	○藤田守文・森 一紘・下垣実央・杉村高志	兵庫県大院物質理
VIII部: 座長 (北 泰行)					
⑩	16:30~17:10	招待講演	ワンポットパラジウムカップリング反応を駆使する太陽電池用色素ライブラリーの迅速構築と機能評価	○高橋孝志・布施新一郎・杉山 栄・田中恵多・米谷真人・和田雄二・田作優美・尾込裕平・早瀬修二・海宝龍夫	東工大院理工・九工大院生命体工学・関東天然瓦斯開発・横浜薬大

※各講演時間は、質疑応答の時間5分を含みます。

## ポスター発表プログラム

会場：千葉大学けやき会館(3F レセプションホール) ー開場 12 時 00 分 発表と質疑 13 時 15 分~14 時 45 分  
番号前に「S」がある発表は、ショートスピーチ予定

No.	発表タイトル	発表者・研究者	所属団体
S01	ヨードアレーンを触媒とする 1,3-ジカルボニル化合物のフッ素化反応	北村二雄○牟田和高・栗木聡史	佐賀大院工
S02	分子状酸素を酸化剤とするヨードアレーン触媒を用いた 1,2-ジオールの酸化的開裂反応	宮本和範○山下準平・小笠紗也加・落合正仁	徳島大院薬
S03	2-ヨードベンズアミド触媒を用いるアルコール類の酸化反応	○山田明広・野田成美・南部寿則・藤原朋也・矢倉隆之	富山大院薬
S04	ヨードニウム塩を酸化剤とするアルコキシアレーン類のカップリング反応	山岡信貴・住田康平○中村彰太・土肥寿文・北 泰行	立命館大薬
05	超原子価ヨウ素試薬を用いたヒドラゾンパラジウム触媒による Heck 型反応	○渡邊康平・三野 孝・阿部太一・坂本昌巳	千葉大院工
S06	ヨージド/TBHP 触媒的酸化システムを用いるケトンの $\alpha$ 位における酸化的 C-N カップリング反応	○塚原 万由子・UYANIK Muhammet・石原 一彰	名大院工・CREST
S07	新規官能性超原子化ヨウ素ベンザイン発生剤の合成と多環系複素環化合物の合成	○権藤圭祐・北村二雄	佐賀大院工
S08	インドリル (アリール) ヨードニウムイミドの合成と応用	○石田一馬・森山克彦・東郷秀雄	千葉大院理
S09	キラル超原子価ヨウ素を用いた触媒的不斉アルケン酸化反応	○下垣実央・藤田守文・杉村高志	兵庫県大院物質理
10	銀-キラルホスフィン錯体を用いた新規不斉反応の開発	○三宅亮次・吉田和弘・柳澤 章	千葉大院理
11	新規二環性NHC 配位子が配位した Ir 触媒不斉水素移動反応におけるヨウ素試剤の添加効果	○上村拓未・桑原弘嗣・長谷川桃・吉田和弘・柳澤 章	千葉大理・千葉大院理
S12	3,3'-ビス (アミノイミノ) ビナフトール-亜鉛錯体を用いる触媒的不斉ヨードラクトン化	○杉山典幸・荒井孝義	千葉大院理
13	ビスイミダゾリジンピリジン(PyBidine) - 酢酸ニッケル錯体を用いた触媒的不斉ヨードラクトン化の反応機構	○松村恵理・梶川智史・荒井孝義	千葉大院理
S14	ヨウ素/アンモニウム塩触媒を活用したイミノヨージンアンを窒素源とするアジリジン合成	清川謙介○小坂知輝・南方聖司	阪大院工
15	ヨウ素と分子状酸素及び可視光を用いるビスインドリルメタンのワンポット合成法	○藤谷明敏・信田智哉・多田教浩・三浦剛・伊藤彰近	岐阜薬大
16	ヨウ素環化反応による環状チオアミジウム塩の生成と反応への利用	松本祥治○高田大貴・影山裕一・赤染元浩	千葉大院工
S17	ヨウ化アルキルおよびヨウ化サマリウムを用いた光照射 CO <sub>2</sub> 固定化反応の複素環化合物合成への応用	○野元昭宏・藤山卓也・百村圭祐・小川昭弥	阪府大院工
S18	ペンタフルオロフェニル化試薬の開発	○松崎浩平・奥山健太・徳永恵津子・柴田哲男	名工大院工
19	ヨウ化水素ガスを用いたケトン二分子によるアルキル化反応	松本祥治○小坂橋誠吾・赤染元浩・大谷康彦	千葉大院工・合同資源産業
S20	ヨウ素錯体の安定構造と励起状態に関する理論的研究	○得丸暁史・今井章裕・藪下 聡	慶大院理工
21	三ハロゲン化物負イオンの衝突誘起解離反応に関する理論的研究	小鷲聡美・阿部俊平・伊藤 慶・○藪下 聡	慶大院理工
S22	ヨウ素 NMR スペクトルによる有機化合物の同定	○加川夏子・鈴木優章・小暮紀行	千葉大院薬

23	PVP-Iにおけるヨウ素近傍構造のXAFS解析	○佐久間寛人・金子拓真・久保忠一・高橋 慧・小西健久・藤川高志	千葉大院融合・千葉大理・医療法人社和会エビハラ病院
No.	発表タイトル	○発表者・研究者	所属団体
24	アミロース/ヨウ素錯体の構造特性に及ぼす反応因子依存性	○豊田智光・石井萌・土屋好司・矢島博文	東理大理
25	カードラン-PEG 共重合体/ヨウ素複合体の調製とその物理化学的特性	○本田雄士・石井萌・土屋好司・矢島博文	東理大理
26	カードラン-PNIPAAm 共重合体/ヨウ素複合体の調製と物理化学的特性、およびその生理活性	○加藤正彦・横山 舞・土屋好司・矢島博文	東理大理
27	キトサン-葉酸修飾ポリエチレングリコールグラフト共重合体/ヨウ素複合体の調製及びその物理化学的特性評価	○甲斐詢平・深堀理子・嵯峨しおり・土屋好司・矢島博文	東理大理
28	キトサン-PEG グラフト及びブロック共重合体/ヨウ素複合体の調製と物理化学的特性、およびその生理活性	○嵯峨しおり・上田新太郎・土屋好司・矢島博文	東理大院総化
29	Electron Density Modification of Single Wall Carbon nanotubes by Liquid-Phase Molecular Adsorption of Hexaiodobenzene	○盧 明霞・大場友則・金子克美・島 賢治・湯村守雄・飯島澄男・小松弘人・佐久間昭・加納博文	千葉大院理・信州大・産総研・名城大・合同資源産業
S30	ヨウ素を用いたジスルフィド材料の合成と二次電池への応用	○谷藤尚貴・濱橋大樹・安部希綱・入澤聰斗	米子高専物質工
S31	無溶媒反応を用いたジスルフィドポリマーの合成とリチウム二次電池材料への応用	○安部希綱・濱橋大樹・入澤聰斗・谷藤尚貴	米子高専物質工
S32	ヨウ素不融化によりヨウ化物塩が鋳型源となる新規ポーラスカーボンの調製法 II-アルカリ金属種と出発原料の分子量の影響-	○松村泰悠・阪根英人・棚池 修・宮嶋尚哉	山梨大院医工・産総研・山梨大機器セ
33	甲状腺ホルモン生合成に関与するジアシルグリセロールキナーゼ $\alpha$ の活性阻害化合物の同定	○国井奈央子・劉 可・坂根郁夫	千葉大院理
S34	院内製剤レボチロキシナトリウム坐剤の製剤学的検討	○増田和司・濱田雄平・大久保正人・仲佐啓詳・関根祐子・石井伊都子	千葉大病院薬剤部・千葉大薬・千葉大院薬
35	市販麺つゆから摂取するヨウ素量に関する研究	○浦川由美子・塚田 信・横山次郎・山口真由	鎌倉女大・女子栄養大栄科研・農産工
S36	ヨウ素の飼料中への添加が鶏卵中タンパク質組成へ及ぼす影響	○伊藤 謙・喜多一美・横山次郎	岩手大農・農産工
S37	ヨウ素酸化酵素の分布と多様性についての研究	○城山カンナ・川崎慶崇・江原彩香・天知誠吾	千葉大園芸
38	2,4,6-トリヨードフェノールを還元的に脱ヨード化する微生物の単離と解析	○河村有紀・大場陽一・天知誠吾	千葉大園芸
39	<i>Rhodococcus equi</i> Br-6 株の臭素酸・ヨウ素酸還元メカニズムの解明	○玉井奈生子・石井貴大・天知誠吾	千葉大園芸
40	イネの根によるヨウ素酸還元とそのヨウ素応答	○加藤翔太・和知孝典・吉平恵依・中川拓也・石川明史・高木大地・手塚 彩・吉田英晴・吉田 聡・関本 均・高橋美智子	農工大連合農・宇大農・放医研
41	The Challenge of Iodine Analysis –Environmental and Biological Application	○Anna Błażewicz・Elzbieta Mazur・Wojciech Dolliver・Ryszard Kocjan	Medical University of Lublin
42	北海道に産出する温泉水中のヨウ素同位体比及びハロゲン濃度から推定される起源	○岡部宣章・村松康行・新井美香子・松崎浩之・高橋正明・風早康平	学習院大学理・東大・産総研

## 企業展示

出展企業	タイトル
関東天然瓦斯開発株式会社	抗菌性資材「ヨードアミセル」
京葉天然ガス協議会	千葉県の天然ガスとヨウ素
合同資源産業株式会社	高純度ヨウ化水素ガス
東京化成工業株式会社	有用な含ヨウ素試薬と関連化合物の製品紹介
日本天然ガス株式会社	健康に寄与する「ヨウ素」
日本農産工業株式会社	健康長寿をサポートする機能卵、ヨード卵光
日宝化学株式会社	日宝化学が展開する各種製品のご紹介

### 千葉大学けやき会館 (9/18)

・JR総武線各駅停車 西千葉駅

(西千葉駅には特急、快速電車は停車  
しませんのでご注意下さい)

・京成電鉄 みどり台駅

それぞれ徒歩 10分

<参考>

○東京駅より約1時間

総武快速線(稲毛駅乗換)総武線各駅  
停車(西千葉駅下車)

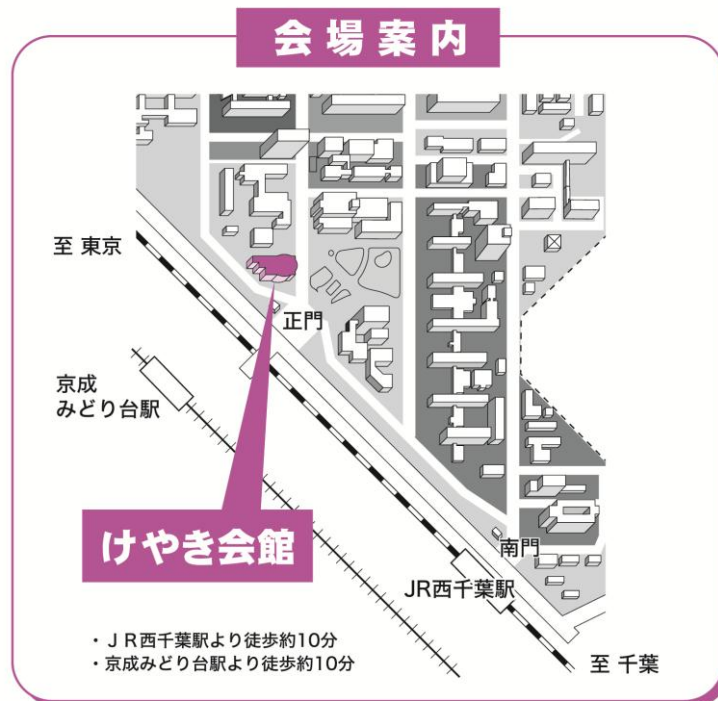
○羽田空港より約90分

京浜急行(品川駅乗換)横須賀・総武快  
速線(稲毛駅乗換)総武線各駅停車(西  
千葉駅下車)

○羽田空港より約100分

リムジンバス幕張・千葉方面(千葉駅  
下車)総武線各駅停車(西千葉駅下  
車)

### 会場案内



#### お問い合わせ先

ヨウ素学会事務局

〒263-8522 千葉市稲毛区弥生町 1-33

千葉大学大学院工学研究科内

TEL/FAX : 043-290-3402

E-mail : sis@fiu-iodine.org